

# 注目のイケメン4人組

# ジャミン・ゼブ

## 5/31 障害児の支援で 白井市文化会館大ホール チャリティコンサート

今もつとも注目されているジャズ・コーラスグループ「ジャミン・ゼブ」が白井にやって来る。白井で障害児を支援する「放課後クラブ『ビリーブ』」(白石芳朗代表)の活動に共鳴してのチャリティコンサートだ。

### 昨年CDデビュー

「ジャミン・ゼブ」は、平均年齢23歳の男性4人組。スタンダードナンバーを中心にポップスも歌いこなす。2年前に結成されたが、昨年10月にはアルバム『スマイル』で早くもCDデビュー。

## 大リーグ開幕戦で日米国歌斉唱

### 魅惑のハーモニーも国際的



昨年10月にリリースしたCD『スマイル』

コジロー(鈴木宏二郎) 幼稚園でピアノを弾く。早稲田大学卒業後にバンドを組みライブ活動を始めた。メンバーの中で唯一の純粋日本人。

ステイヴ(仲光甫) 父が日系アメリカ人。母が日本人。慶応大学在学中。ワグネル・ソサイエティ 男声合唱団で指揮者も務めた。

レンセイ(西澤連聖) 父が日本人、母がオーストラリア人。昨年7月までオーストラリア在住。グリフィス大学クイーンズランド音楽院で作曲とレコーディング技術を学ぶ。中島美嘉に曲を提供したことも。

シモン(西脇史門) 父が日本人、母がメキシコ人。高校時代から歌い始め、アカペラやポップスなどを歌う。慶應大学在学中。

## 北総線値下げ求める署名 白井・小室地区で4万人突破

「10万人署名運動」を(北美会 吉田治男代表)展開している北総線の運賃値下げを実現する会。署名が4万3140名(4月20日現在)に達したことを明らかにした。4月22日に開かれた同

平成20年(2008)5月号  
しろい通信 vol.33

発行部数1万6000部 隔月刊  
白井市南山1-3-8-101  
TEL(047)492-2396  
FAX(047)492-2364  
編集人/草野富佐子  
発行人/幸正純治

会の定例会では、印西市以東も含めると、「8万人の署名は達成する予測はついた」とし、目標の10万人に到達するには、鎌ヶ谷・松戸・市川などでの積極的なPR活動や署名運動、成田市や成田空港労働関係への働きかけ、ネット署名の推進などが必要との認識で一致した。ネット署名は、「北美会」で検索でき、一度に5名分まで記入できる。パソコンだけではなく、

携帯からも可能。同会では街頭での署名活動やミニ集会を活発化する予定だ。

## 夢の共演 5月30日(金) 白井市文化会館大ホール

## 艶歌・ひばり歌謡の3時間

歌謡界の実力派、三船和子と美空ひばりの実妹、佐藤勢津子が5月30日、白井市文化会館大ホールで共演する。題して「艶歌・ひばり歌謡 夢の共演」(主催・音芸社)。



をいで湯に連れてって、佐藤は「今日決して明日また笑おうぞ」の新曲を

ひばりの実妹 佐藤勢津子  
歌謡界の女王 三船和子



それぞれ披露。この日は、北総会、大藤祭会など地元音芸7



放課後はお友達といるのが一番

## 放課後クラブ『ビリーブ』

## 障害を持つ子どもたちに楽しい放課後を

今回のチャリティコンサートを主催するのが、放課後クラブ『ビリーブ』。ダウン症、自閉症、高機能障害などの障害を持つ子どもたちに「放課後」を提供する団体である。会長の白石芳朗さん(46)も障害を持つ子どもの父親だ。

「普通の子ともたたちが、放課後に友達と楽しく遊ぶことができない。障害のある子どもたちは違う。ほとんどが市内の公立小・中学校の個別支援級に通っている。学校が終わると、まっすぐ家に帰って親と一緒に引きこもるケースが多いんです」。

また特別支援学校、つまり養護学校の場合、市外の学校にスクールバスで通うため、他の生徒と放課後を過ごす機会が皆無。何とか普通の子ともたが同じような放課後を過ごさせてあげたい。

そんな願いを抱く保護者は、白石さんだけではなかった。こうして白井市からの助成も受け、放課後クラブ『ビリーブ』が2年前の4月、中央公民館隣の国保診療所跡地(復1458・1)で産声をあげる。生活指導員3名に子どもが5名だった。3年目を迎えた今、13

名の子ともたたちが、平日と第2・4土曜に「放課後」を楽しむ。登録スタッフ13名がローテーションを組み、5〜7名体制を保っている。基本的には午後2時から午後6時まで。「ひとりりで洋服を着たり、食事ができたり、衣食住の基本的なことも教えています」と生活支援員の阿部紀子さん。

清水口小学校で児童保育の指導員だった阿部さんは、専任なので常勤だ。「外で遊ばせたいけど、ジョギングとかボール遊びができるスペースが欲しいですね」という阿部さんの希望は、実現に向かっていて。施設が2年後、現在の南山保育園がある場所に移ることになっているのだ。

子どもたちの中には、「天才」も少なくない。「ドラえもん」のタイトルを年ごとに全部覚えていく子もいる。他の子どもも誕生日も覚えていくんです。また、山手線の駅名をすらすらと言っている子も。家でパソコンをしている子もいるんですよ。1人ひとりが個性的です」(副会長の川上弘子さん)。

そんな子どもたちが、「ジャミン・ゼブ」のチャリティコンサートを楽しみにしている。

団体も特別賛助出演して2人の舞台を盛り上げる。午後6時15分開演。前売特別料金は3800円。特別賛助出演と前売券についての問い合わせは、090・3694・3451(馬場崎)へ。公演内容の問い合わせは、(有)音芸社(電話03・33378・4451)へ。